

宮下宗一郎知事（手前）にW杯でのメダル獲得を報告する関川愛音選手＝6日、青森県庁



スポーツクライミングW杯3位 関川（光星）「自信になった」

宮下知事に結果報告

6月にチェコのプラハで開催されたスポーツクライミングのワールドカップ（W杯）第4戦で、自己最高の3位となった八戸学院光星高の関川愛音選手が6日、青森県庁に宮下宗一郎知事を訪ね、自身初のメダル獲得を報告した。9月の世界選手権に初出場を果たすなど「今季の結果は自信になった」と飛躍の1年を笑顔で振り返った。

2023、24年のW杯は準決勝の壁を突破できなかったが、今シーズンは全6

戦中5戦で決勝に進出。第4戦で表彰台に立つなど最終順位で4位に入った。

県庁には母親の夕子さん、木村一夫校長補佐らと訪問。「来年のW杯も出たい。まずは2月の選考大会でしっかり結果を残して、日本代表になりたい」と抱負を語った。

宮下知事は「世界で戦ってきた自信、日本代表としての誇りを感じる。県民を代表して激励を送りたい」と背中を押した。

高校生ながら日の丸を背負い、海外を転戦する関川選手。レトルト食品が手放せないことなど苦労話も明かし「色んな選手に助けられながら、3年目でやっと慣れてきた」と話した。

（加藤弘也）